

公開研究会

# 歴史知識学の創成

## 科学史・文化史研究と歴史知識学

(法文1号館2F)

2007年9月15日(土) 13:00~17:00 東京大学文学部215番教室

□13:00 開会 史料編纂所長、情報国際センター長、横山伊徳

□13:10-15:10 基調報告

### 歴史知識学の創成を目指して

石川徹也(史料編纂所・前近代日本史情報国際センター・教授)

### 『明治前日本科学史』と科学史研究のその後

佐藤賢一(電気通信大学・准教授)

### 『大日本史料』における学芸史料

末柄 豊(史料編纂所中世史料部・准教授)

### 『古事類苑』と和漢古典学オントロジ

相田 満(国文学研究資料館・助教)

□15:30-16:30 研究報告

### 『明治前日本科学史』の検索システム構築－歴史情報を対象とする「知識の構造化」の具現例－

(史料編纂所・大日本印刷(株)共同研究プロジェクト)

### 『明治前日本科学史』を対象とする”日本の科学・技術者人物情報”抽出システム－明治前日本科学・技術者人物DB構築を目指して－

(史料編纂所・NTTデータ(株)共同研究プロジェクト)

□16:30-17:00 討論

### 歴史情報から歴史知識へ

史料編纂所の歴史情報研究は、その所蔵出版する史料についてのデータベース作りから始まった。史料から検索に必要なメタデータ(データのデータ)を抽出し、機械可読な形で電子計算機に格納する作業である。歴史学研究者が行う歴史情報論的研究は、このメタデータベース論がメインであった。

データ記述におけるXMLなどの構造化手段の研究を媒介として、歴史情報研究は、史料に対する意味タグ定義へと向かい、これらの集合体としての意味体系＝知識体系の構築が求められるようになった。

歴史的知識の蓄積はさまざまな形をとって行われる。そうした知識の体系をなすものとして、『古事類苑』(51冊)・『大日本史料』・『明治前科学史』(26冊)が代表的であり、本センターではこの3書目を念頭に知識ベース構築を目指している。

お問い合わせ先:

東京大学史料編纂所  
前近代日本史情報国際センター

〒113-0033  
文京区本郷7-3-1

電話 03(5841)1615  
FAX 03(5841)5956  
Email: cdps@hi. u-tokyo. ac. jp

